

日清戦争後の条約、協定、公文、覚書等を輯録し、
日中関係の研究には必須の書。

外務省条約局編

日支間並支那二関スル

日本及他国間ノ条約

大正12年版



約内第三款所言國們江北雜居區域即本圖

所繪地方南以圖們江東以嘎呀河西北均

紅線為界界内准韓民與華民雜居墾地特

聲明

クレス出版

『日支間並支那二関スル日本及他国間ノ条約』刊行にあたって

筑波大学名誉教授

白井勝美

外務省条約局はワシントン会議以後、満州事変勃発までの間に非常に大部のしかも意義の高い編纂物を刊行した。すなわち

- 「日支間並支那二関スル日本及他国間ノ条約」 大正十二年三月
 - 「英米仏露ノ各国及支那国間ノ条約」 大正十三年三月
 - 「日英米仏露以外ノ各国ト支那国間ノ条約」 大正十五年六月
- の三冊で総計五千ページを遙にこえる画期的な条約集である。さらに昭和四年これを補填する「支那二関スル条約追補」が出版され、翌五年にはやや性格を異にするがこれも大部の同じく重要な意義をもつ「旧条約彙纂」「三巻四冊」が刊行された。

このように一定のテーマをもつ条約集が短い時期に集中的に刊行されたことに政治的な或いは歴史的な意味を見てもあながち奇異とは言えないであろう。

これら条約集の編纂は戦争に向けて破綻の道を踏み出す一歩前、いわば日本外交の成熟期を表徴する一つの大きな事業であったと見られるのである。国際法学者としても著名な山川端夫条約局長「大正九年―十四年」の指導のもとで推進されたとみられるこの一連の仕事は日本外務省の歴史のなかでも誇り得る業績の一つと思われる。

この事業の端緒をなした「日支間並支那二関スル日本及他国間ノ条約」は機密として内部印刷されたもので一、日中間 二、中国に關する日本と第三国 三、中国に關する列国間 の各条約・協定・公文などで構成され、時代的には明治二十八年日清戦争の休戦条約に始まり大正十一年の日中郵便約定で終わるが、原則的に日中兩國の原文、外国文の場合の日本語などが収録されている。本書には他に容易に見ることの出来ない多方面にわたる規則、取極などもありこの時期の日中関係の研究には必須の書となっているが、中国の開国、日本の幕末期から始まっている上記列国の中国関係条約集および「旧条約彙纂」などと併用することによって更にその真価が発揮されよう。

目次 (年代順)

休戦條約	名	冊	頁
Convention of Armistice	調印其ノ他ノ年月日		一
休戦延期條約	調印其ノ他ノ年月日		一
Convention to prolong Armistice	調印其ノ他ノ年月日		一
講和條約並附屬議定書(地圖)	調印其ノ他ノ年月日		一
Treaty of Peace	調印其ノ他ノ年月日		一
臺灣受渡ニ關スル公文	調印其ノ他ノ年月日		一
奉天半島邊附條約並附屬議定書	調印其ノ他ノ年月日		一
Convention of Retrocession and Protocol	調印其ノ他ノ年月日		一
通商航海條約	調印其ノ他ノ年月日		一
同上議定書	調印其ノ他ノ年月日		一
Treaty of Commerce and Navigation	調印其ノ他ノ年月日		一
杭州居留地内道路築造費等償辦ニ關スル交換公文	調印其ノ他ノ年月日		一
同上追加取極書	調印其ノ他ノ年月日		一
杭州居留地内道路築造費等償辦ニ關スル交換公文	調印其ノ他ノ年月日		一
風俗治安ノ取締ニ關スル交換公文	調印其ノ他ノ年月日		一

目次 (年代順)

第一部 日支間條約、協定及公文等

日支間並支那二関スル日本及他国間ノ条約 目次

- 第一部 日支間條約、協定及公文等
- 第二部 支那二関スル日本及他国(支那ヲ除ク)間ノ條約、協定及公文等
- 第三部 支那二関スル列国間ノ條約、協定及公文並列国ノ承認ニ依ル諸規則等
- 参考ノ部 日支兩國加盟ノ万国條約

休戦條約

明治二十八年三月三十日下ノ關ニ於テ調印(日、支文)

大日本帝國皇帝陛下ハ今回不慮ノ變事ノ爲メ講和談判ノ進行ヲ妨碍セシメテ茲ニ一時休戦ヲ承諾スヘキコトヲ其ノ全權辦理大臣ニ命セラレタリ因テ大日本帝國皇帝陛下ノ全權辦理大臣内閣總理大臣從二位勳一等伯爵伊藤博文全權辦理大臣外務大臣從二位勳一等子爵陸奥宗光及大清國皇帝陛下ノ欽差頭等全權大臣太子太傅文華殿大學士北洋大臣直隸總督一等肅毅伯李鴻章ハ左ノ休戦定約ヲ訂結セリ

停戰專條

光緒二十一年三月五日於下之關署名蓋印

大日本帝國 大皇帝因見有不幸之事項現在議和之學暫時延緩今命全權辦理大臣應允暫行停戰特派

大清帝國 大皇帝欽差頭等全權大臣 太子太傅文華殿大學士北洋通商大臣直隸總督一等肅毅伯爵 李 鴻 章

與 内閣總理大臣從二位勳一等伯爵 伊 藤 博文
全權辦理大臣外務大臣 陸 奥 宗 光
從二位勳一等子爵 陸 奥 宗 光

議定停戰條款如左

第一款 大日本帝國 大清帝國政府現允日中兩國所有在奉天直隸山東地方水陸各軍均確照以下所定停戰條款一律辦理

第二款 兩國軍隊應遵該約暫行停戰者各自須駐守現在屯紮地方但停戰期內不得互爲前進

内容見本 (86%縮小)

第一條 日清兩帝國政府ハ奉天省直隸省山東省地方ニ在テ下ニ記スル所ノ條項ニ從ヒ兩國海陸軍ノ休戦ヲ約ス

第二條 本定約ノ効力ニ依テ休戦スヘキ軍隊ハ實際交戦ヲ停止スル時ニ當リテ各其ノ屯駐スル所ノ場處ヲ保持スルノ權利ヲ有スヘシ但シ本定約ノ期限内ハ如何ナル場合タリトモ前記ノ場處以

休戦條約

日支間並支那二関スル日本及他国間ノ条約大正12年版
 ● A5判/上製函入/総一、二四〇頁/定価三〇、〇〇〇円(税別)
 ● 一九九八年二月刊 ISBN4-87733-044-5 C3331

明治期外務省調書集成

全49巻 明治期外交資料研究会編
 外交交渉当事者、外交事務担当者によって、自身の経験あるいは事務処理の過程の上で作成された報告書集。
 日清講和関係調書集 全13巻
 A5判/総八、〇二二頁/揃定価一九三、〇〇〇円
 日露講和関係調書集 全9巻
 A5判/総五、八四二頁/揃定価一四五、〇〇〇円
 外務省制度・組織・人事関係調書集 全9巻
 A5判/総五、三〇〇頁/揃定価一三五、〇〇〇円
 条約改正関係調書集 全18巻
 A5判/総一二、九八〇頁/揃定価二八四、〇〇〇円

日本・中国関係

イギリス外務省文書目録

全3巻 佐藤元英編著
 イギリス国立公文書館のチェック・リストから日本・中国関係の外務省文書目録を編集。外交史に限らず、広く日本研究および中国研究にとつて計り知れない価値をもつ一級資料の宝庫。
 B5判/総一、七七〇頁/揃定価五五、〇〇〇円

日本外交史料集

再版

全3巻 外務省調査部編纂
 徳川幕府の時代より、華府会議に至る日英、日米の関係を、膨大な外交文書を基礎に、外務省調査部が執務用として、昭和十二年、十四年に編纂し、部内に限って配付した貴重かつ信頼の高い史料集。
 日英外交史 全2巻 A5判/総一、五二〇頁 揃価三五、〇〇〇円
 日米外交史 全1巻 A5判/四四二頁 定価一〇、〇〇〇円

同時刊

世界大戦関係日本外交文書(第一巻)昭和14年版
 ● A5判/上製函入/総一、二七〇頁/定価三〇、〇〇〇円(税別)
 ● ISBN4-87733-043-7 C3331

外務省執務報告

全12巻 臼井勝美・濱口學・原口邦紘解説
 外務省の各局部が年度毎に行つた執務を、網羅的かつ具体的に把握できる資料。太平洋戦争に至る日本外交の全貌を明らかにする。
 東亜局 全6巻 A5判/総五、〇六二頁/揃価一三五、〇〇〇円
 欧亜局 全3巻 A5判/総二、五八六頁/揃価七〇、〇〇〇円
 亜米利加局 全3巻 A5判/総二、〇三四頁/揃価五五、〇〇〇円
 第二期全9巻 本宮一男・臼井勝美解説
 通商局 全4巻 A5判/総四、〇〇〇頁/揃価一〇六、〇〇〇円
 條約局 全2巻/情報部 全1巻
 調査部 全1巻/文化事業部 全1巻
 A5判/総四、三〇〇頁/揃定価一一四、〇〇〇円

外務省公表集

全12巻 佐藤元英監修・解題
 外務省から文書によつて発表された主として声明、談話、通告、説明、交換公文などの外交関係記事を蒐集し、記録に留めるために編纂されて、公開されたもの。大正八年から昭和十八年までの二二輯と「満州事変及上海事件公表集」「支那事変関係公表集」も含む。
 A5判/総七、三〇〇頁/揃定価一八二、〇〇〇円

外務省沿革類従

全1巻 小林和幸解説
 慶応四年正月太政官に外国事務掛が置かれた時より、明治二年七月の外務省設置を経て、明治九年に至るまでの外務省沿革を輯録。近代的な外政機関として創設され確立される過程の外務省の人事、機構各種施設、機能の変遷の重要部分を伝える基礎資料。
 A5判/一、三〇〇頁/定価二五、〇〇〇円